

親による子どもの動機づけの認知と 子どもの動機づけとの関連について —APIM による縦断的検討—

○福住紀明 (高知大学)
石井 僚 (奈良教育大学)
大谷和大 (北海道大学大学院)
鈴木高志 (高知工科大学)

村山 航 (University of Reading)
石川信一 (同志社大学)
榊 美知子 (University of Reading)
田中あゆみ (同志社大学)

キーワード：自己決定理論, 動機づけ, 親子関係

問題と目的

本研究では, Actor-Partner Interdependence Model (APIM: Cook & Kenny, 2005) を縦断調査に用いることで, Time 1 と Time 2 の Actor 効果を統制し, 親による子どもの動機づけ認知と子どもの動機づけの Partner 効果を検証することで, 双方向的な効果を明らかにすることを目的とする。

方 法

対象者と手続き

調査会社に登録されている親子を対象に調査を行い, 2 回の調査に参加した親 147 名 (父 34 名, 母 113 名) とその子ども 147 名 (男子 64 名, 女子 83 名; $M_{\text{age}}=14.99$ 歳, $SD=0.85$) を対象とした。郵送法による質問紙調査を調査会社に委託して行った。

調査内容

動機づけ Hayamizu (1997) の Stepping Motivation Scale (SMS) の 28 項目を用いた。SMS は, 自己決定理論 (Deci & Ryan, 2000) に基づき, 勉強の理由の内在化の程度によって, 内発, 同一化, 取り入れ, 外的の 4 つの動機づけの下位尺度 (各 7 項目) で構成される。バックトランスレーション法を用いて, 項目の内容的妥当性を確認した。回答方法は 5 件法で親と子どもに尋ねた。親には子どもの動機づけの認知について尋ねた。

デモグラフィック変数 回答者の性別について尋ねた。

結 果

性別を統制した上で, APIM による分析を行った。Time 1 の親による子どもの動機づけ認知と子どもの動機づけの Actor 効果を統制した上で, Time 2 の親による子どもの動機づけ認知と子どもの動機づけに対する Partner 効果について検討を行った (Table 1)。その結果, 内発, 取り入れにおいては, 親による子どもの動機づけ認知と子どもの動機づけの相互に有意な正の影響が示され, Partner 効果が示された。一方, 同一化, 外的においては, 子どもの動機づけから親による子どもの動機づけ認知に有意な正の影響を与えることが示されたが, 親の認知については, 子どもの動機づけに対する有意な正の影響が確認されず, 子どもの動機づけのみに Partner 効果が示された。

考 察

APIM の結果, 親による子どもの動機づけ認知

が子どもに及ぼす影響は, 動機づけのタイプによって異なることが示された。内発や取り入れは感情で動機づけられることから, 期待効果として子どもの動機づけに影響を及ぼしたと考えられる。一方, 同一化や外的においては, 親による子どもの動機づけ認知が不正確であることから, 親が子どもの動機づけを高める方略が不適切である可能性が示唆された。

Table 1 各動機づけタイプに対する APIM の結果

	<i>b</i>	<i>SE</i>	<i>p</i>
Actor 効果 (内発)			
親 (T1) → 親 (T2)	.63	0.06	.000
子 (T1) → 子 (T2)	.54	0.08	.000
Partner 効果 (内発)			
親 (T1) → 子 (T2)	.16	0.09	.031
子 (T1) → 親 (T2)	.19	0.05	.003
Actor 効果 (同一化)			
親 (T1) → 親 (T2)	.63	0.06	.000
子 (T1) → 子 (T2)	.54	0.08	.000
Partner 効果 (同一化)			
親 (T1) → 子 (T2)	.09	0.09	.210
子 (T1) → 親 (T2)	.19	0.05	.003
Actor 効果 (取り入れ)			
親 (T1) → 親 (T2)	.57	0.06	.000
子 (T1) → 子 (T2)	.52	0.06	.000
Partner 効果 (取り入れ)			
親 (T1) → 子 (T2)	.21	0.08	.003
子 (T1) → 親 (T2)	.23	0.05	.000
Actor 効果 (外的)			
親 (T1) → 親 (T2)	.60	0.07	.000
子 (T1) → 子 (T2)	.47	0.09	.000
Partner 効果 (外的)			
親 (T1) → 子 (T2)	.13	0.11	.079
子 (T1) → 親 (T2)	.16	0.05	.013

Note. T1 = Time 1, T2 = Time 2

付 記

本研究は JSPS 科研費 JP16H06406 の助成を受けた。